

加茂駅周辺まちなかエリア未来ビジョン(構成案)

- 1 未来ビジョンとは
- 2 加茂駅周辺まちなかエリアの特性と課題
 - (1) 加茂駅周辺まちなかエリアの特性
 - (2) 加茂駅周辺まちなかエリアの課題【P.9】

課題の再整理は、修正版を事前にメールで共有済みです。

- 3 未来ビジョンの体系
- 4 未来ビジョン
- 5 ゾーンごとのテーマ
- 6 実現に向けたポイント

今回
追加

7 具体的な取組【 P. 18～25 】

資料2「加茂駅周辺まちなかエリアに関わる既存/新規の取組整理表」を踏まえ、未来ビジョンの実現のために必要な取組を検討して記載します。

8 未来ビジョンの実現に向けて

資料4からの抜粋だけでなく、取組を整理する中で、不足している取組があれば加筆します。

今回
追加

- (1) エリアプラットフォーム
- (2) ロードマップ【P.27】

短期⇒中期⇒長期で目指す到達内容を記載します。

参考資料1 検討の経緯

参考資料2 取組一覧表…前回資料のロードマップの整理様式を巻末に移動

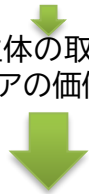
令和6年7月11日

第2回加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォームワーキング

1 未来ビジョンとは

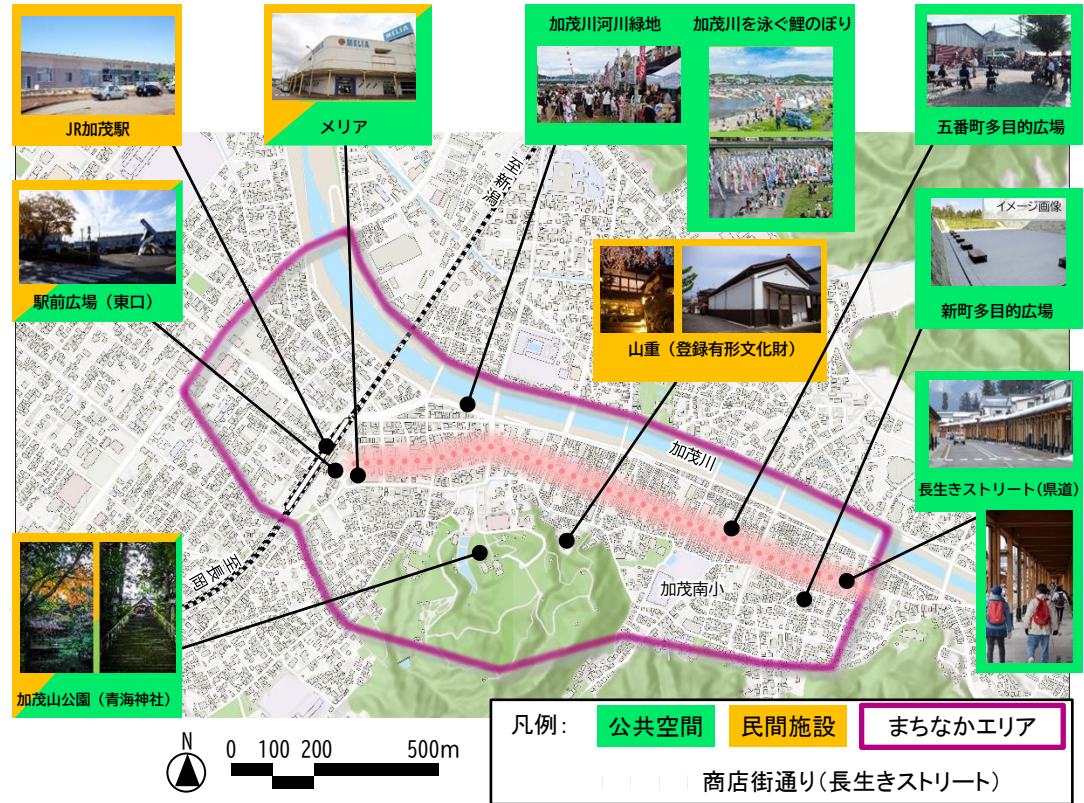
(1) 未来ビジョン策定の背景と目的

- 加茂駅周辺まちなかエリアは、加茂駅と、そこから伸びる近代化されたアーケード付き商店街を中心として、商店街と並行して流れる加茂川、地名の由来となった青海神社を祀る加茂山が近接したコンパクトで、ウォカブルな都市構造となっています。
- 加茂市総合計画（令和3年度策定）では、「人が集い、賑わいと活力があふれ稼ぐ力と雇用を生み出すまち」を目指すための方策として加茂駅周辺のまちなかエリアの市街地活性化が明示されており、加茂市全体の活力をけん引していく最も重要な拠点として位置づけられるべきエリアです。
- 一方、学生を中心とした駅利用者が非常に多いにも関わらず滞留や回遊が生まれにくく、賑わいや消費活動の創出に結びついていないことが課題であり、エリアの潜在的な魅力が活かされていない状況にあります。
- エリア内での様々な主体の取組が個々にではなく、それらの連携によるエリアの価値向上が必要です。



エリア内の課題解決や賑わい創出の取組を戦略的・継続的に推進するため、官民の垣根を超えた様々な主体が参画する枠組み（**エリアプラットフォーム**）を構築するとともに、官民を問わない様々な主体が将来像を共有し、その実現に向け官民連携で取り組む「**未来ビジョン**」を策定します。

■ 加茂駅周辺まちなかエリアの位置



1 未来ビジョンとは

(2) 未来ビジョンの性格

- 未来ビジョンは、加茂駅周辺まちなかエリアに関わり多様な主体がまちづくりの方向性を共有するとともに、相互連携を促すための指針となるものです。
- 未来ビジョンの実現に向けては、エリアプラットフォームが方向性の舵取りを担い、多様な主体による相互連携を促すことで、持続的に賑わいと活力あふれるまちづくりを推進します。
- 未来ビジョンは、まちづくりの進捗や社会情勢の変化、技術の進展などを踏まえて、これからもバージョンアップさせていきます。

■加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム (令和6年3月13日設立)



未来ビジョンは、多様な主体がまちづくりの方向性を共有するとともに、相互連携を促すための指針

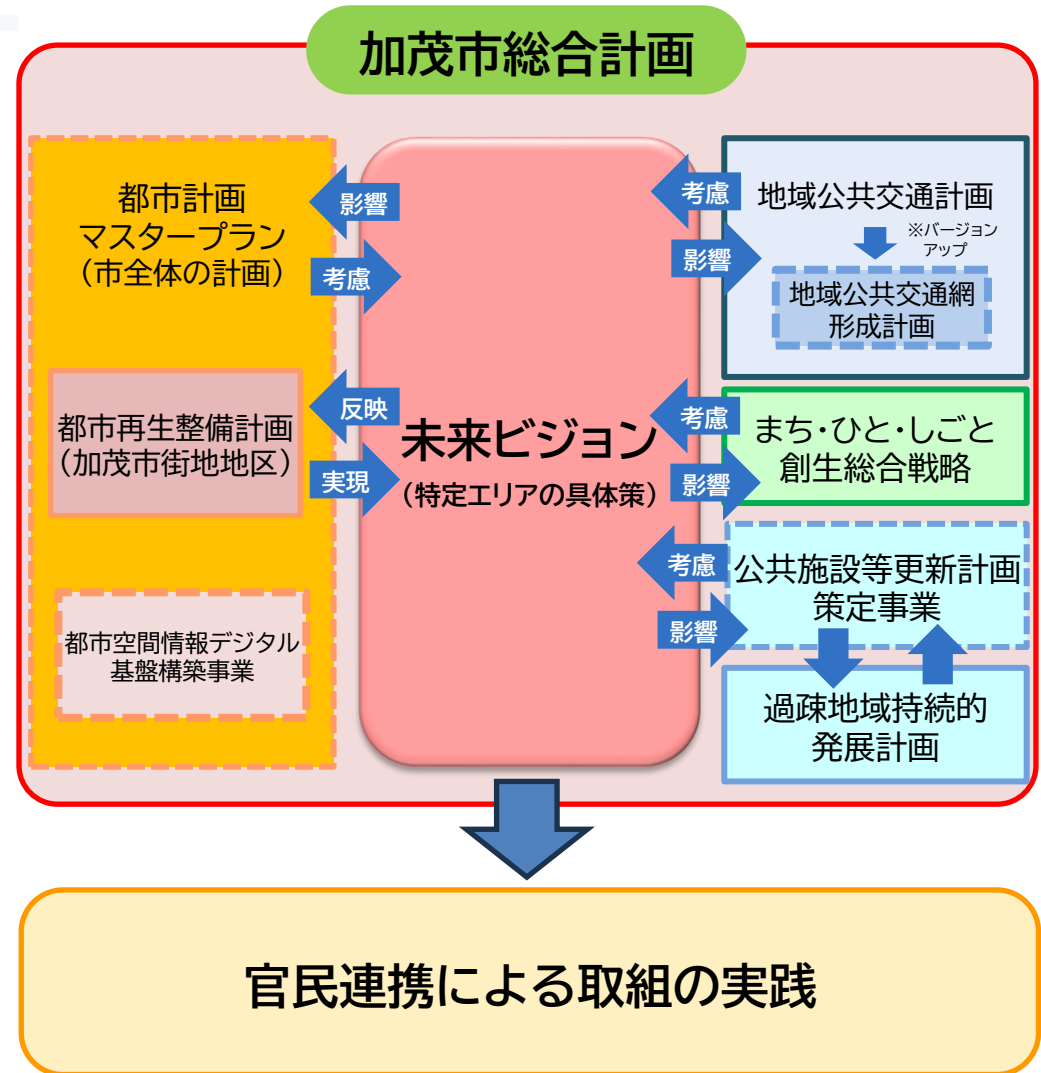
未来ビジョンの実現に向けては、エリアプラットフォームが方向性の舵取りを担う

まちづくりの進捗や社会情勢の変化、技術の進展などを踏まえて、未来ビジョンはこれからもバージョンアップさせる

1 未来ビジョンとは

(3) 未来ビジョンの位置づけ

- 未来ビジョンは、加茂駅周辺エリアの賑わいと活力あふれるまちづくりのため、官民で共有するエリアが目指す姿とその実現のための取組の指針となります。
- 加茂市では、総合計画をはじめ、都市計画マスタープラン、地域公共交通計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略、個別の公共施設等更新計画と未来ビジョンとの整合を図り、庁内の所管部局等を横断した取組を推進します。
- 未来ビジョンは、官民が共有する将来の目標として、加茂駅周辺という特定のエリアにおける最も上位となる計画として位置づけられます。



2 加茂駅周辺まちなかエリアの特性と課題

(1) 加茂駅周辺まちなかエリアの特性

- エリアの高齢化・人口減少、空き店舗など既存ストックの遊休化が進行しており、現状の傾向をそのままにすると、ますますエリアの賑わいや価値の低下を引き起こす悪循環に陥る恐れがあります。
- 商店街、加茂川、加茂山の3つのアセット（資産）を強みとして活かしながら、コロナ禍での社会変容や移住など、時代の変化をチャンスと捉えることが重要です。

エリアの現状

強み

- ・コンパクトで歩きやすい環境
- ・ゆったり、ゆったりとした、ホッとできる環境
- ・駅利用者数が多い（高校生等若者）
- ・歴史的文化財が点在
- ・商店街には個性的な店舗がある
- ・スーパーや医療等の生活を支える施設が集積
- ・魅力的で癒しのオープンスペースである加茂川、加茂山



弱み

- ・滞留や回遊が生まれにくく、賑わいや消費活動に結びつかない
- ・観光客のピーク時に、それを活かす環境ができていない
- ・商店街空間らしいデザイン配慮不足
- ・バリアフリー化できてない駅舎
- ・加茂山公園は家族のお出かけ場として魅力不足
- ・子ども連れで過ごせる場所が不足
- ・駐車場が使いにくい（狭い）、わかりにくい



社会情勢の変化や新たなニーズ

機会

- ・コロナ禍での社会変容（屋外利用価値向上、リモートワークなど働き方の多様化、社会のデジタル化）
- ・移住、二拠点居住トレンド
- ・地方創生ブーム
- ・インバウンド、国内観光需要の復活
- ・地域の日常を楽しむ暮らし観光
- ・高齢化を背景とした歩いてく暮らせるまちづくりへのニーズ



脅威

- ・高齢化・人口減少、世帯減少
→店舗廃業リスク
→空き家・空き店舗・空きスペースなど
既存ストックの遊休化
- ・単身高齢世帯（孤独な高齢者）の増加
- ・若い世代の転出超過の継続
- ・施設の老朽化
- ・小売業の販売方法変化（高齢店主ではECやDX対応が難しい）
- ・オーバーツーリズムへの懸念

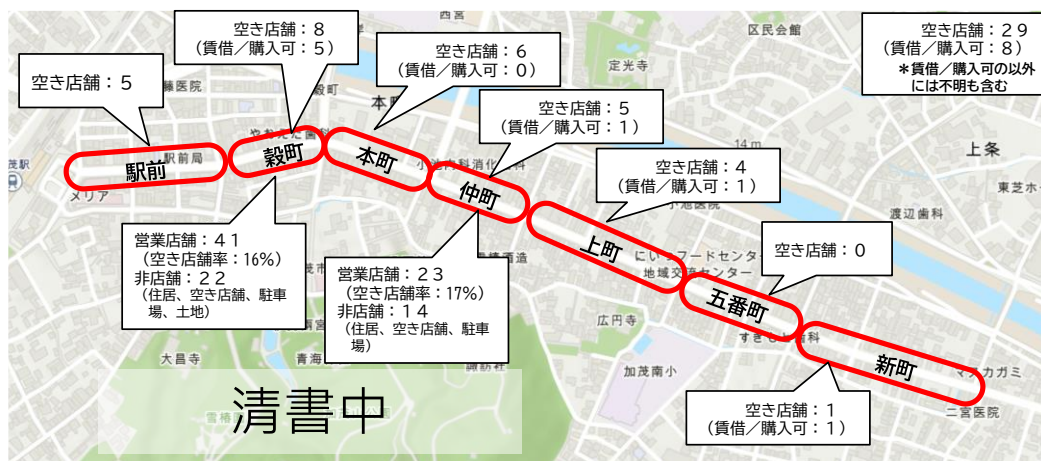


2 加茂駅周辺まちなかエリアの特性と課題

(参考1) 商店街の空き店舗の状況

商店街の空き店舗は29店舗（令和5年4月1日現在）あり、このうち所有者が、賃借又は売却してもよいと考えている店舗は8店舗にとどまっています。商店街の店舗は、住宅と一体となっている構造が多く、空き店舗の活用が進まない要因の一つです。

■商店街の空き店舗の状況



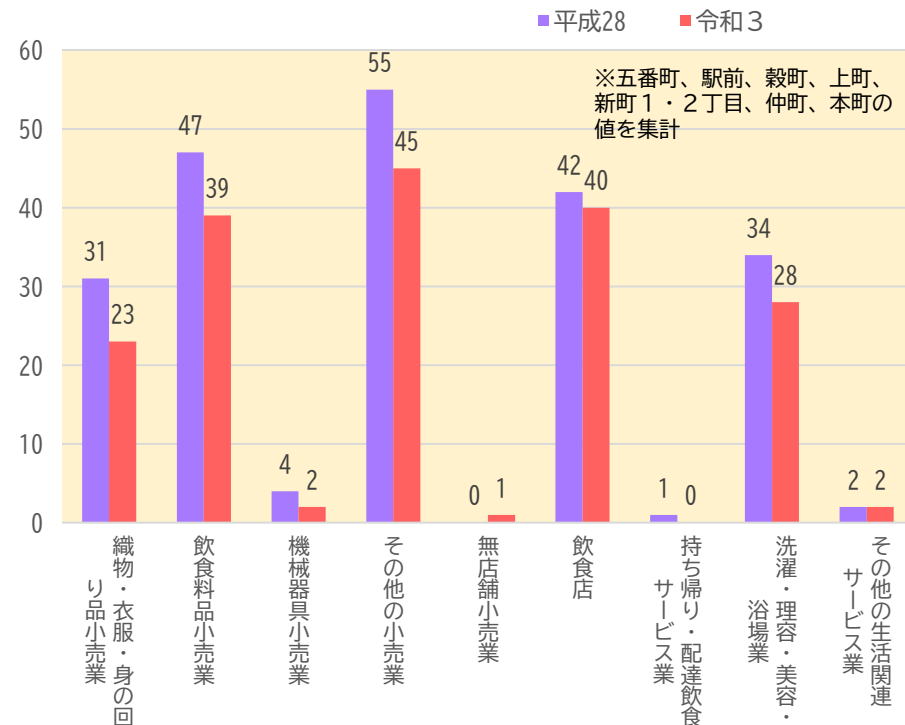
出典: 「商店街空き店舗調査」(令和5年4月1日)を基に作成

(参考2) 商店街の業種構成の変化

過去5年間で飲食店は2店舗の減少に留まっていますが、日用品である飲食料品小売業、買い回り品である織物・衣服・身の回り品小売業は8店舗減少しています。

■まちなかエリアの商業・サービス関連の業種構成

(店)



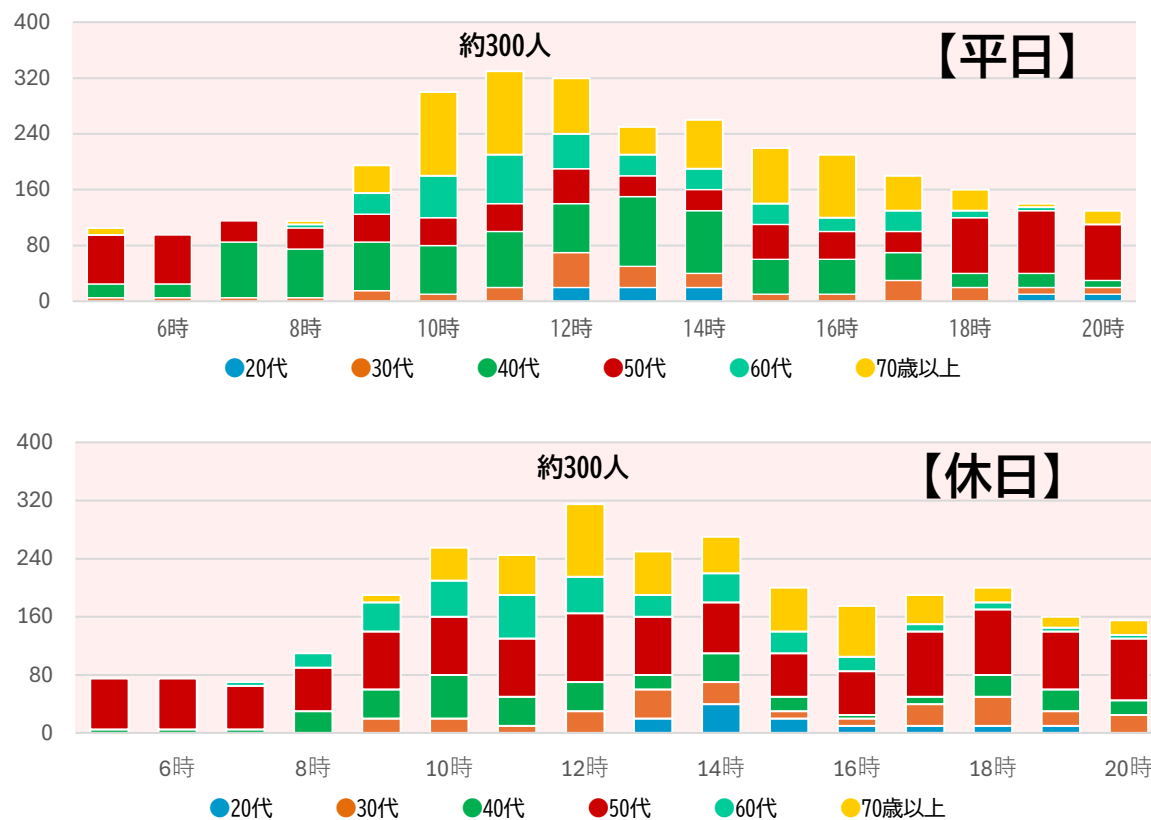
出典: 総務省「経済センサス」を基に作成

2 加茂駅周辺まちなかエリアの特性と課題

（参考3）加茂川の滞在人口

携帯電話位置情報を活用した加茂川の滞在人口（令和5年10月の1か月間）を見ると、平日は10時から12時頃に約300人の滞在者が、休日は10時から14時頃に250～300人程度の滞在者が観測され、このうち20・30代の滞在者は少ない状況です。

■滞在人口：令和5年10月の1日平均（平日・休日）



データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」

※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計しております。

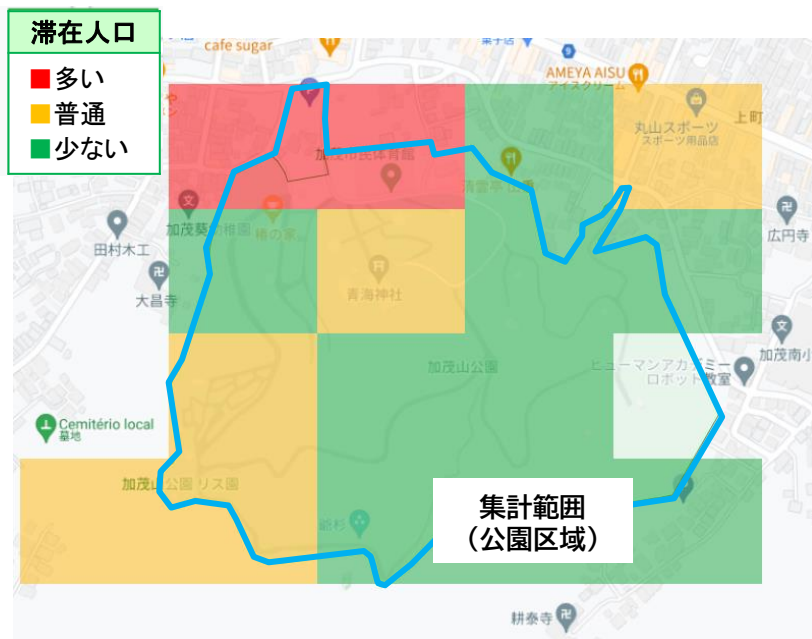


2 加茂駅周辺まちなかエリアの特性と課題

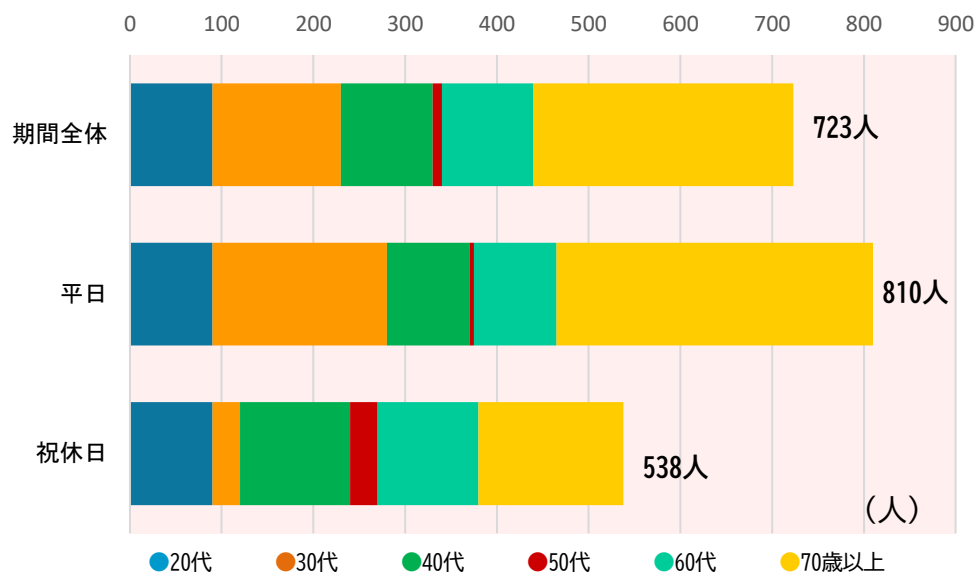
(参考4) 加茂山公園の滞在人口

携帯電話位置情報を活用した加茂山公園の滞在人口（令和5年10月の1か月間）を見ると、1日利用者は720人／日前後で平日に比べ休日の利用者が少ない状況です。また、加茂市体育館周辺～青海神社・リス園が滞在の中心で、年齢別では約半数が60代以上となっています

■加茂山公園の滞在人口（令和5年10月の1か月）



■加茂山公園の年齢別滞在人口（日平均）



データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」

※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計しております。

2 加茂駅周辺まちなかエリアの特性と課題

(2) 加茂駅周辺まちなかエリアの課題

- 加茂駅周辺まちなかエリアで解決すべき課題を「賑わい」、「憩い・潤い」、「便利・快適」の切り口で整理します。

賑わい

①若者の興味・関心が薄い

▶商店街の利用者は高齢者中心で、加茂駅を利用する若者（高校生等）は多いものの、まちなかを素通り

②日常の人通りが少ない

▶商店街、加茂川、加茂山公園はイベント時に集客はあるが、日常の人通りが少ない

③回遊空間の奥行に乏しい

▶商店街は単調な動線で、加茂川の自然、加茂山の自然と歴史、歴史を感じる谷通りなどの地域資源が回遊に活かされていない

憩い・潤い

④親子や若者の憩いの場が少ない

▶商店街、加茂川、加茂山には、家族連れや若い世代にとって、心地よい居場所や滞在空間が少ない

⑤歩行環境が活かされていない

▶幅の広い歩道やアーケードがあり、誰もが安心して歩ける環境があるものの、それが活かされていない

便利・快適

⑥住民のための店舗が減少している

▶空き店舗の増加、店舗の住宅への転換により、日用品を買える店舗が減少

⑦バスの利用者が少ない

▶まちなかへのお出かけに身近な公共交通であるバスが十分に活用されていない

⑧駐車場が使いにくい

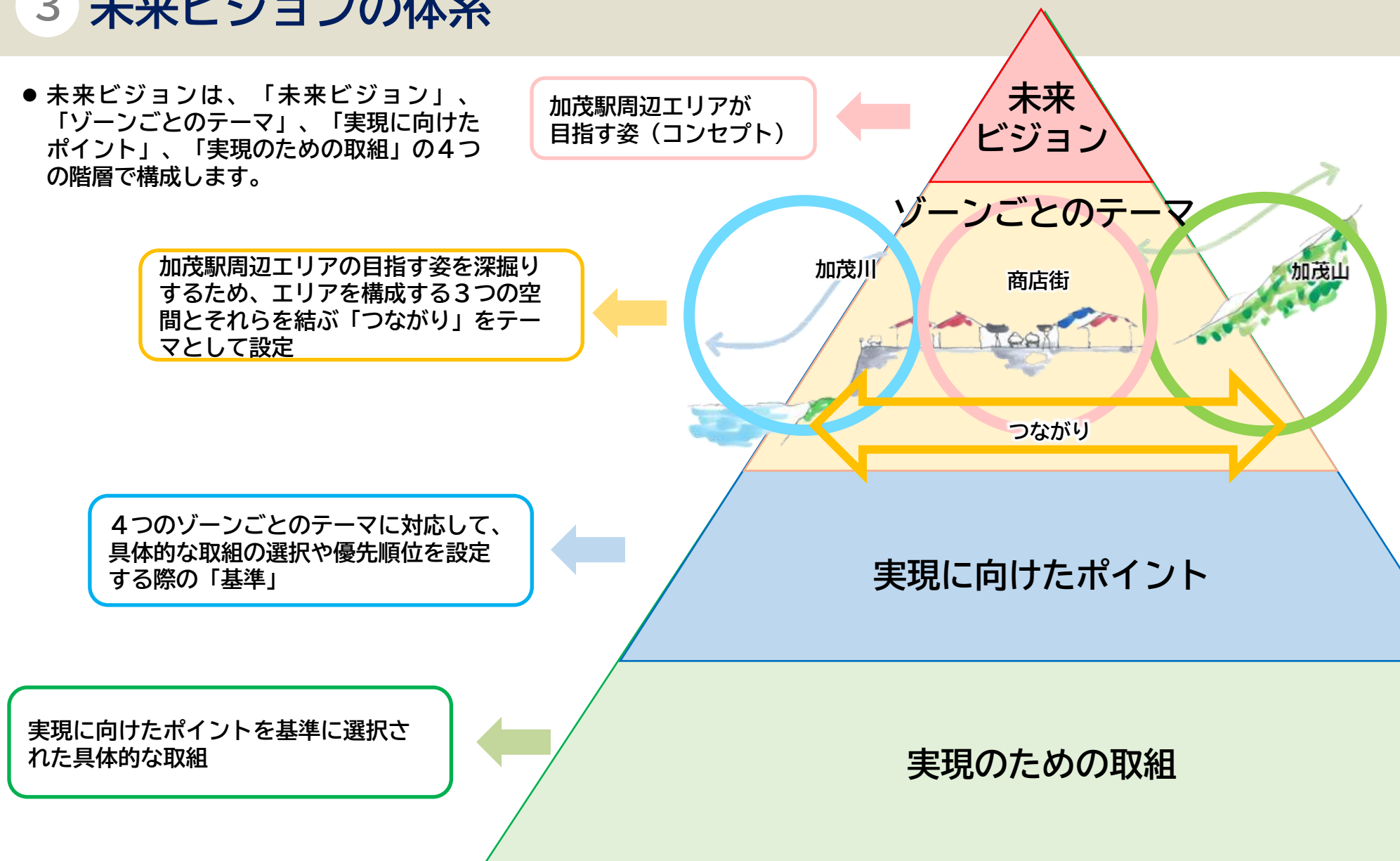
▶公共駐車場は普段は量的に充足しているが、ピーク時に需要が集中するエリアでの駐車量が確保されておらず、子ども連れ家族にとって使いにくい

⑨もてなしの雰囲気乏しい

▶まちなかの外に住んでいる人にとって、楽しみ方の案内や紹介、もてなしが不足

3 未来ビジョンの体系

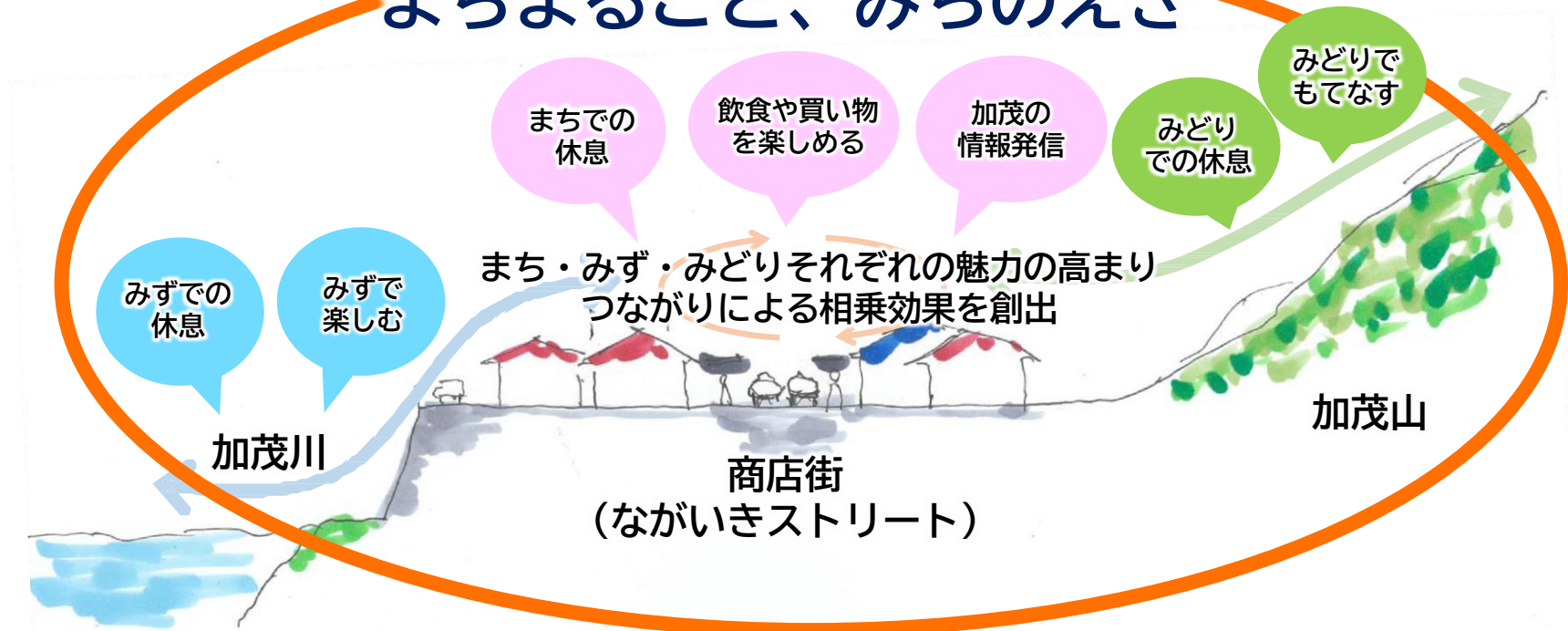
- 未来ビジョンは、「未来ビジョン」、「ゾーンごとのテーマ」、「実現に向けたポイント」、「実現のための取組」の4つの階層で構成します。



まちまるごと、みちのえき ～日常がとっておきになる～

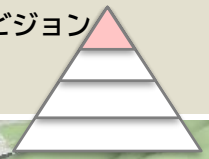
- ながいきストリートを中心に飲食やお買い物を楽しめるほか、加茂山や加茂川を含めたエリア全体における【憩い・休息機能】、交流を生み、日常生活や地域コミュニティを支える【地域の連携機能】、加茂の魅力をまるごと体感・体験できる【情報発信機能】が詰まっている姿から、まちなかエリアをまるごと1つの「みちのえき」として位置づけます。
- 「みちのえき」には、「未知」や「益」という意味も込めています。まだ知らない加茂の魅力があること、新たな人との出会いを秘めていること、商店街やいろんな活動が起こる水辺、悠久の時を感じる神社や公園など、加茂のまちなかに詰まっているたくさんの可能性を花開かせ、賑わいや交流、消費といった利益や価値を生み出していくことを目指します。これにより、このまちで過ごす、暮らす、働く時間を、「とっておきの日常」に仕立てていきます。

まちまるごと、みちのえき



4 加茂駅周辺まちなかエリアの未来ビジョン

未来ビジョン



エリアの将来イメージ作成予定（令和5年度の「将来イメージ」に変わるもの）

※アングル例として図示

みず
拡大
シーン

つな
がり
拡大
シーン

みどり
拡大
シーン

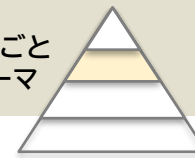
まち
拡大
シーン

このアングルはGISで機械的に作成したものであり、アングル確定後に改めて鳥瞰のイメージ図を作成

GSI, Esri, TomTom, Garmin, Foursquare, GeoTechnologies, Inc, METI, NASA, USGS

5 ゾーンごとのテーマ

ゾーンごと
のテーマ



まち

みず

みどり

つながり

まち(商店街)

ストリート

◆ワンデイ STORE×EAT

これまで長く続いてきた商店街の持つ温かさや心地よさは受け継ぎながら、新たな価値観に合ったお店、ニーズをとらえた食べ物など、沢山の「いいね！」が詰まったストリート空間が、地域をめぐる元気の源となって豊かなまちの魅力を伝えます。

【ワンデイに込められた3つの願い】

- ① (過去の) ある日：ながいきストリートとしてこれまで続いてきた、交流を生み出す店舗の価値を大切に受け継ぐ
- ② (今の) 1日：訪れた人がこのエリアの中で1日を楽しく過ごすことができる
- ③ (未来の) ある日：これからもとっておきの日常が続いていく(※私たちの意志や努力で実現させるもの)

ストリート

【STORE×EATに込められた想い】

(店舗) (食べ物)

気軽に立ち寄れる「STORE(店舗)」と美味しい「EAT(食べ物)」が集まることで、1日中楽しめる「STREET(商店街)」に人が集う

新規イラスト作成予定

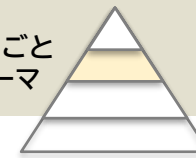
※取組のブラッシュアップ(次回WG)
後に描くシーンを検討・決定



参考：令和5年度のまとめで使用したイメージ

5 ゾーンごとのテーマ

ゾーンごとの
テーマ



まち

みず

みどり

つながり

みず(加茂川)

◆みな(も)のリビング

水辺の多様な使い方が共存でき、お気に入りの過ごし方がシェアできる「皆のリビング」として、誰にとっても居心地の良い場所であるとともに、四季の変化や新たな人との出会い・交流が生まれる「水面のリビング」として楽しさがあふれます。

【「みな(も)の」に込められた想い】

- ・ **みなも(水面)**：河川敷を舞台に、鯉のぼりをはじめとして四季折々の水面に映しだされる心に残る風景やアクティビティを楽しめる場所
- ・ **みな(皆の)**：多様な使い方が共存でき、それぞれの感じる楽しさや心地良さをシェアすることで、新たな出会い・交流が生まれる場所

【「リビング」に込められた想い】

- ・ 居心地の良い日常空間として、開放感にあふれたお気に入りの過ごし方ができる場所

新規イラスト作成予定

※取組のブラッシュアップ(次回WG)
後に描くシーンを検討・決定



参考：令和5年度のまとめで使用したイメージ

5 ゾーンごとのテーマ

ゾーンごと
のテーマ



まち

みず

みどり

つながり

みどり(加茂山)

◆うらやまテラス

自然と歴史が一体となって風格を感じさせ、このまち自慢のおもてなし空間であるうらやまは、まちなかにいることを思わず忘れてしまうような没入体験の機会が充実していくことで、訪れた人のココロを癒し、カラダに潤いをもたらします。

【「うらやま」に込められた想い】

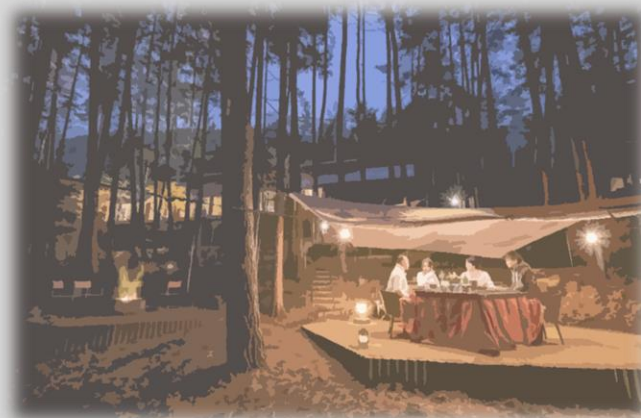
- ・裏山／羨ま(しい)：JR加茂駅から徒歩5分という、他の地域ではまず見られない、こんなにも豊かな自然あふれる里山が中心市街地に密接した環境は、加茂にこのような場所があることが「羨ましい」と思われるようなおもてなし(表なし≡裏)の空間

【「テラス」に込められた想い】

- ・テラス／照らす：水面のリビングに対して、自然が形づくったテラスは、青海神社を含む歴史や文化と相まって、木々の合間から差し込む光が訪れた人たちの心と体を照らし、癒しや潤いをもたらす空間

新規イラスト作成予定

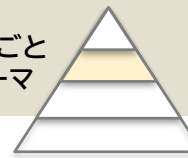
※取組のブラッシュアップ(次回WG)
後に描くシーンを検討・決定



参考：令和5年度のまとめで使用したイメージ

5 ゾーンごとのテーマ

ゾーンごとの
テーマ



まち

みず

みどり

つながり

つながり

◆加茂市愛の醸し合い

まち、みず、みどりの魅力を市民が愛着を持って磨き上げ、一体感を醸成するような仕組み／仕掛けづくりを進めることで、ついお出かけしたくなる、選ばれる場所へと加茂のまちなかを仕立て上げ、ひと・もの・ことの好循環を創出します。

【「加茂市愛」に込められた想い】
・各ゾーンへの愛着(シビックプライド)を深める

【「醸し合い」に込められた想い】
・ゾーン間のつながりが一体感を醸成する

新規イラスト作成予定

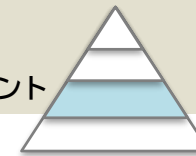
※取組のブラッシュアップ(次回WG)
後に描くシーンを検討・決定



参考：令和5年度のまとめで使用したイメージ

6 実現に向けたポイント

実現に向けたポイント



実現に向けたポイント		「まちまるごと、みちのえき」の機能	憩い・休息 機能	加茂の情報 発信機能	地域の連携 機能
まち (商店街)	加茂のショーケースとなる飲食店や物販店や暮らしを支える生活サービスの拡充			●	●
	日常的な買い物のしやすさの向上				●
	人がいる日常風景を生み出す居場所づくり	●			●
	人中心の歩きやすいまちづくり				●
みず (加茂川)	四季を通した訪問目的の充実			●	●
	利活用を促す環境の整備			●	●
	多様な利用シーンが共存できるような利用エリアの設定	●			●
	滞在環境の充実	●			
みどり (加茂山)	おもてなし、おでむかえなどホスピタリティの感じられる景観づくり			●	
	わかりやすい案内サインや情報発信などの充実			●	
	歴史文化的な環境と調和した憩いや佇み環境の充実	●			
	生物の多様性や自然体験などの環境学習の場や機会の充実				●
つながり	まち、みず、みどりをつなぐ仕掛けづくり			●	●
	おもてなし空間づくり活動の促進	●		●	
	若者を中心に、チャレンジする場や活躍の機会を提供する仕組みづくり			●	●
	まちづくりの新たな担い手を増やす取組の充実				●

7 具体的な取組

具体的な取組



まち(商店街)

テーマ

ワンデイ
ストリート
STORE×EAT

写真

写真

POINT 01 加茂のショーケースとなる飲食店や物販店、暮らしを支える生活サービスの拡充

- 加茂の特色や特長を生かした飲食店や物販店が増えるとともに、市民の日々の暮らしを支える機能・サービスが充実したまちが息づいています。
- 起業や創業のしやすさがイメージとして定着し、まちの新たな担い手が生まれ続け、人が訪れなくなる機会がまち中に広がっています。

◆ 推進する主な取組

- ・ 飲食店や物販店等の創業サポート
- ・ 空き店舗を活用した新規出店サポート
- ・ 地域の特色や特長を生かしたまちデザインへと誘導するための仕組みづくり など

POINT 02 日常的な買い物のしやすさの向上

- 使いやすい、わかりやすい交通環境が形づくられ、まちやお店の情報に触れる機会が店先とネットの双方で充実していることにより、誰でも気軽に商店街に出かけて買い物を楽しむことができるようになっていきます。

◆ 推進する主な取組

- ・ かもんバスの利便性向上（EX：中心市街地内での乗降無料化等）
- ・ まちや店舗の魅力を伝えるための仕組みづくり
- ・ まちなかの未利用空間を活用した臨時駐車場の設置 など
（民地も含めたまちの資産の有効活用を促進する仕組みづくり）

7 具体的な取組

POINT 03 人がいる日常風景を生み出す居場所づくり

- 公共か民間かを問わず、まちの資産である遊休施設や未利用地の有効活用が進み、心地良い憩いの場や休息の場がまちに増え、人と人、人とまちをつないで、まち全体が身近な居場所となって誰かの話し声や笑い声であふれています。

◆ 推進する主な取組

- ・ 多目的広場を人中心に利用できる交流スペース等として日常的に活用
- ・ 民地の空き地に対する暫定利用(期間限定出店や休憩スペースの設置)の促進
- ・ 空き店舗の活用等子どもや若者が主体となって利用できる集いの場の充実
- ・ 施設の更新の機会を捉えた多様な主体の連携による多世代交流スペースの整備 など

POINT 04 人中心の歩きやすいまちづくり

- 雨が続く日でも、真夏の暑い日でも、車通りを気にすることなく歩くことができ、疲れたら気軽にひと休みできる心地よいアーケード空間がしっかりと保たれていて、歩きたくなるまちなかをつくりだしています。

◆ 推進する主な取組

- ・ 季節や曜日、時間帯を考慮した道路空間における歩行者利用エリアの拡大
- ・ 健康づくりに取り組む歩行者が店舗利用することへの付加価値の向上
- ・ 道路空間を活用した健康づくりや身体活動機会の創出
- ・ 店先におけるベンチの設置といった歩行者への心遣いの充実 など

写真

写真

写真

7 具体的な取組

具体的な取組



みず(加茂川)

テーマ

みな(も)のリビング

写真

写真

POINT 01 四季を通した訪問目的の充実

- 加茂川を泳ぐこいのぼりや越後加茂川夏まつりといった、加茂川に行くきっかけとなるようなイベントが増え、加茂川に行くことを楽しむ時期が一年を通して定期的に訪れます。賑わいへの期待感がある日々が増え、市民の足が自然と水辺に向かうようになっています。

◆ 推進する主な取組

- ・ 季節感を生かした新たなイベントの実施
- ・ イベント時におけるキッチンカー等飲食サービスの提供
- ・ 水辺に親しみながら飲食が楽しめる川床の設置 など

POINT 02 利活用を促す環境の整備

- 加茂川の河川敷は誰でも使いやすい緑地としてルールが守られ、個人にとっても団体にとっても歩く、走る、遊ぶ、憩うといった様々な活動が行われる空間となっています。
- 河川空間のルールは誰もがわかりやすく学べるものとして、子どもから大人まで老若男女を問わず知っていて、皆が互いを尊重しながら伝え合うことができます。

◆ 推進する主な取組

- ・ 河川敷を活用した水に親しめる緑地としての整備・維持管理の実施
- ・ 管理用通路を活用したウォーキングコースの整備・維持管理の実施
- ・ 分かりやすい河川の利活用ルールの策定や周知、学校教育との連携 など

7 具体的な取組

POINT 03 多様な利用シーンが共存できるような利用エリアの設定

- 使い方の特性に応じた緩やかなゾーニングを設けることで、大勢でアクティブに過ごしたい人も、落ち着いて静かに過ごしたい人も、誰もがルールに則って、河川空間という広いオープンスペースを生かしたその人なりの過ごし方が楽しめる場所になっています。

◆ 推進する主な取組

- ・ 利用特性や公園設備、周辺環境等に応じた河川利用のゾーニング
- ・ 子どもや若者たちがスポーツや水遊びを楽しむことができる環境・風土づくり
- ・ バーベキューやデイキャンプ等余暇を楽しく過ごすことができる環境・風土づくり など

POINT 04 滞在環境の充実

- 花壇やベンチの手入れがきちんと行き届いていて、人々が河川敷に滞在するその姿は、まるで自宅のリビングで過ごすような心地よい日常の風景の一部になっています。

◆ 推進する主な取組

- ・ ベンチや日よけの設置(動かすことができるもの)
- ・ 景観に配慮した休憩設備(トイレ・シャワー等)の設置
- ・ 花壇や芝生の整備・維持管理による美観の向上 など

写真

写真

写真

7 具体的な取組

具体的な取組



みどり(加茂山)

テーマ

うらやまテラス

写真

写真

POINT 01 おもてなし、おでむかえなどホスピタリティの感じられる景観づくり

- ローラースライダーやリス、青海神社など市外から加茂を訪れる人々の目的地として、平日は高齢者、休日は家族連れで賑わう加茂山は、四季を通じて人々の心を癒し、潤す魅力的な空間・景観であふれています。

◆ 推進する主な取組

- ・ 自然的景観と歴史的景観の保全によるおもてなし空間の形成
- ・ 宮大門から青海神社の参道につながる道路の奥行きを生かした空間の演出
- ・ ツアーガイドの育成によるホスピタリティの向上 など

POINT 02 わかりやすい案内サインや情報発信などの充実

- ユニバーサルデザインや景観に配慮した案内・サインが充実し、公園の情報を分かりやすく伝えられることで、はじめて加茂山を訪れた人でも公園の様々な魅力を楽しむことができるようになっています。

◆ 推進する主な取組

- ・ 施設の案内マップやサインをより分かりやすいものへと見直し
- ・ デジタル技術(QRコード等)を活用した加茂山に関する情報発信の充実 など
(EX: 四季の移ろいや混雑状況などを映像やマップ上で可視化)

7 具体的な取組

POINT 03 歴史文化的な環境と調和した憩いや佇み環境の充実

- 加茂山のもつ荘厳な歴史と文化的価値を感じながら、生い茂った木々やその合間からこぼれる光が神秘的で落ち着いた雰囲気をつくりだし、その心地よい静けさの中で過ごす時間を多くの人々が楽しんでいます。
- ◆ 推進する主な取組
 - ・ 民間の資金や事業者のノウハウを導入したサービスレベルの向上(EX : Park-PFI)
 - ・ 歴史や自然と調和した休息スペースや便益施設の設置
 - ・ ハイキングコースや加茂山古道ルートにおける休憩機能の充実 など

POINT 04 生物の多様性や自然体験などの環境学習の場や機会の充実

- 子どもたちが、ありのままの自然の中で夢中になって遊び、体験する中で、生き物や環境の仕組み、加茂山の魅力を楽しみながら学んでいきます。
- ◆ 推進する主な取組
 - ・ 自然の中で思い切り遊べるプレーパーク(冒険遊び場)の設置
 - ・ ハイキングコースや加茂山古道を生かした自然探検・学習機会の提供
 - ・ 森の中で宿泊や飲食、環境学習を楽しむことができる機会の提供 など

写真

写真

写真

7 具体的な取組

具体的な取組



つながり

テーマ

加茂市愛の醸し合い

写真

写真

POINT 01 まち、みず、みどりをつなぐ仕掛けづくり

- 加茂山で遊び、商店街で買い物や飲食を楽しみ、加茂川で憩うなど、1日を通してまち・みず・みどりそれぞれの魅力を感じながら、豊かな暮らしを楽しんでいます。
- ◆ 推進する主な取組
 - ・ 商店街、加茂川、加茂山をめぐるような一体感のあるイベントの実施
 - ・ 商店街、加茂川、加茂山を歩いてめぐりたくなるような情報発信の充実
 - ・ 商店街、加茂川、加茂山を行き来しやすくなる小さな交通手段の活用 など
(EX: マイクロモビリティ、グリーンスローモビリティ)

POINT 02 おもてなし空間づくり活動の促進

- 市民が商店街、加茂川、加茂山に関わる機会が増えることで、それぞれに対する愛着(シビックプライド)が育まれ、みんなの力でその魅力を磨き上げようとする活動が盛んになっています。
- ◆ 推進する主な取組
 - ・ 商店街、加茂川、加茂山を日ごろからきれいに使う意識の向上
 - ・ 子どもや学生、地域住民など多様な主体が協力した美化清掃活動の実施
 - ・ おもてなしマインドの向上による観光客や来街者への温かい声掛けや案内の実践 など

7 具体的な取組

POINT 03 若者を中心に、チャレンジする場や活躍の機会を提供する仕組みづくり

- 若者らしいみずみずしい感性や新しい価値観から生まれたアイデアが実現していくことで、まちなかエリアを訪れるたびに新しい発見や感動が生まれ、次々と新たな出会いやチャンスに結びついています。

◆ 推進する主な取組

- ・ 若者の企画提案やチャレンジを後押しする仕組みづくり
- ・ 若者と地域住民が協働して地域課題の解決や魅力の向上に取り組む仕組みづくり
- ・ 年齢や世代、性別にとらわれることなくまちづくりに参加できる環境づくり など

POINT 04 まちづくりの新たな担い手を増やす取組の充実

- 主体的にまちづくりに関わりながら、よりよい未来を実現したいというマインドを持った担い手が次々と集まるとともに、そうした人をサポートする環境が整っています。

◆ 推進する主な取組

- ・ ワークショップなどの交流を通じたまちづくりの担い手の育成
- ・ 産官学金が連携してまちづくりを行うための拠点づくり
- ・ 市民が主体の活動を円滑に行うための社会実験や実証事業へのサポート など

写真

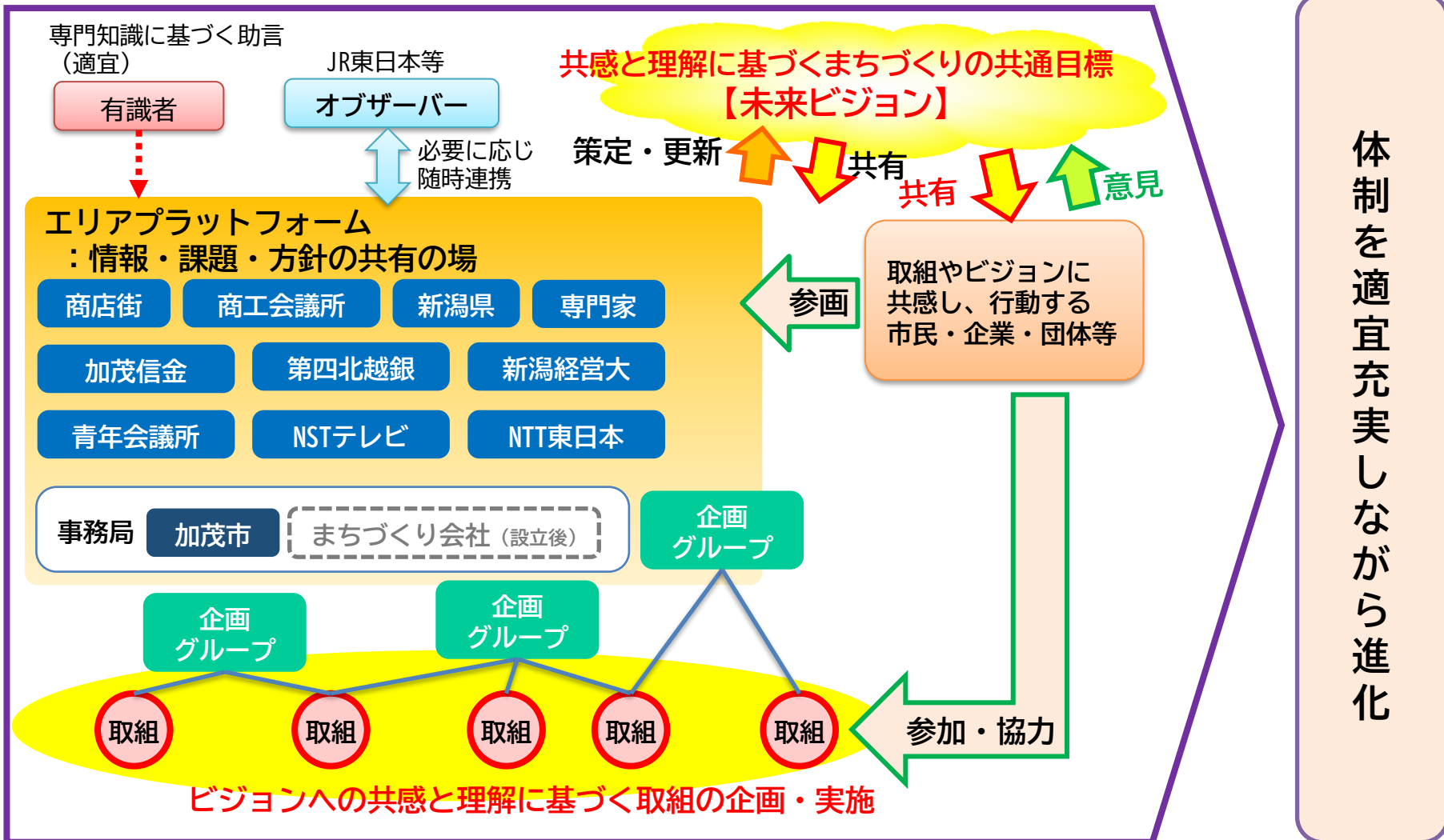
写真

写真

8 未来ビジョンの推進に向けて

(1) エリアプラットフォーム

- エリアプラットフォームは、官民が適切に情報共有し、未来ビジョンの実現に向けて情報・課題・方針の共有の場です。
- 未来ビジョンに共感し、行動する市民・企業・団体等は、エリアプラットフォームの支援を受けながら実行します。(リード文：仮)
- 実践を重ねながら、体制を適宜充実し進化していきます。



8 未来ビジョンの推進に向けて

(2) ロードマップ

- 10年後の「まちまるごと、みちのえき」の実現を目指して、できることから取組を実施していきます。
- 概ね5年後までには、まちなかエリアでの市民の過ごし方に変化が現れはじめることを目指します。
- 概ね10年後には商店街の機能が今の社会のニーズに応えられるものになるとともに、商店街・加茂川・加茂山の魅力が一体となって「とっておきの日常」を楽しめるまちとなっています。



参考資料 1 検討の経緯

(1) 検討メンバー

■エリアプラットフォーム全体会

氏名	所属

■エリアプラットフォームワーキング

氏名	所属

(2) 検討の経緯

令和4年度からの取組の経緯

参考資料 1 検討の経緯

(3) 検討過程での意見（ワークショップ）

参考資料 2 取組一覧表

まち(商店街)

実現のポイント	取組	継続すること、 すぐできること	短期	中期	長期	実施 主体
加茂のショーケース となる飲食店や物販 店や暮らしを支える 生活サービスの拡充		現行の取組を継続	他の取組と連携、新たな企 画等の検討・実施	検証	継続	
日常的な買い物のし やすさの向上						
子どもたちが安心して 遊べる空間など、 人がいる日常風景を 生み出す居場所づく り						
人中心の歩きやすい まちづくり						

参考資料 2 取組一覧表

みず(加茂川)

実現のポイント	取組	継続すること、 すぐできること	短期	中期	長期	実施 主体
四季を通した訪問目的の充実)						
利活用を促す環境の整備						
多様な利用シーンが共存できるような利用エリアの設定						
滞在環境の充実（ベンチ、日よけ、手軽な飲食サービスの提供など）						

参考資料2 取組一覧表

みどり(加茂山)

実現のポイント	取組	継続すること、 すぐできること	短期	中期	長期	実施 主体
おもてなし、おでむ かえなどホスピタリ ティの感じられる景 観づくり						
わかりやすい案内サ インや情報発信など の充実						
歴史文化的な環境と 調和した憩いや佇み 環境の充実						
生物の多様性や自然 体験などの環境学習 の場や機会の充実						

参考資料2 取組一覧表

つながり						
実現のポイント	取組	継続すること、 すぐできること	短期	中期	長期	実施 主体
まち、みず、みどり をつなぐ仕掛けづく り						
おもてなし空間づく り活動の促進						
若者を中心に、チャ レンジする場や活躍 の機会を提供する仕 組みづくり						
まちづくりの新たな 担い手を増やす取組 の充実						